

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19100009	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	脳機能低下防止策としての筋活動の促進	研究代表者 (所属・職)	大平 充宣（大阪大学・大学院医学系研究科・教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、脚筋活動の程度やパターン等が脳の機能に影響を及ぼす機構の解明と筋の再生助長策を解明することにより、脳機能の活性化を含めた QOL を向上させることを目的とした研究である。研究進捗状況報告書に記載された研究成果は評価に値するが、その内容のほとんどは筋再生に関するものであり、本研究課題である脳機能低下防止策としての筋活動の役割に関する報告は見受けられない。すなわち、従来から研究代表者が取り組んでいる筋再生に関する研究は大いに成果を挙げているが、本研究目的に合う成果はほとんどまだ挙げられていない状況であると思われる。

今後は脳機能低下防止に関する研究に重点をおき、本研究に相応しい学術上の成果を挙げることを大いに期待する。

【平成24年度 検証結果】

検証結果	本研究は、ラットを被験体として、脚筋活動が脳の機能に及ぼす影響を、記憶学習行動やタンパク質の発現量によって器質的に解明するとともに筋再生の助長機序を解明し、脳機能低下防止策に繋がる筋活動の機構解明を目指している。
B	研究成果をみると損傷筋の再生に関する基礎研究の報告は多くあるが、筋運動と脳の機能の解明、さらに脳機能の低下防止のための運動処方策に関する報告はほとんど見あたらず研究進捗評価の時点からの進展が見られない。本研究において本来の目的とする研究成果は挙がっていないと判断される。筋損傷の再生における成果等を鑑み今後の研究の発展に期待したい。